



岡崎市議会議員

鈴木 ひでき

「いつまでも 安全安心 いきいきと」した 岡崎のまちづくり

発行 鈴木ひでき 後援会 連絡先 〒445-8502 西尾市下羽角町住崎1 TEL 0563-55-1167 FAX 0563-55-1909

まちづくり
3政策

すこやかな
発展を続ける

おだやかな
暮らしを守る

のびやかな
人生を歩める

令和4年度決算審査について

【決算審査に臨むにあたり】

監査委員の経験も活かし、新型コロナウイルス感染症や激甚化する災害から、市民の生命や財産を守るとともに、持続的な健全財政の運営ができるまちづくりを見据え、令和4年度に執行された事業について審議しました。

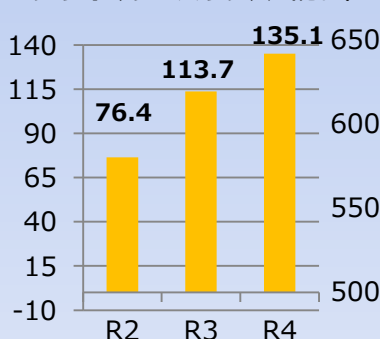
■決算審査概要

項目	歳入	歳出	純剰余金及び利益
一般会計	1,523億3,812万円	1,429億8,292万円	72億4,317万円
特別(12)会計	677億8,507万円	657億4,172万円	11億1,040万円
病院事業会計	282億8,532万円	253億2,751万円	29億4,006万円
水道事業会計	81億6,060万円	70億5,242万円	7億8,293万円
下水道事業会計	92億9,699万円	85億8,611万円	3億4,617万円

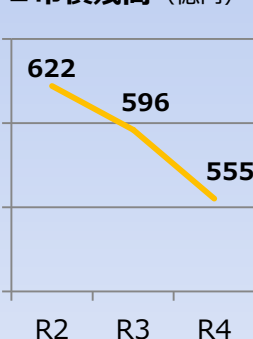
<財政状況の評価>

財政指標：プライマリーバランス（基礎的財政収支）とは、市債の発行に頼らず、その年の歳入で市民生活に必要な支出がまかなえているのか確認する指標で、財政健全化の目安の一つ。

■プライマリーバランス（億円）



■市債残高（億円）



■一般会計

- ・過去2番目の決算額（R3年度は3番目の規模となる）
（内、新型コロナウイルス感染症対策額は、約107億7,582万円）
- ・財政力指数は1.00（不交付団体となる）
- ・市債残額は、40億円減額 **世代間の公平を図る観点で要注視。**

■企業会計

- ・病院は、医療収益の増加とコロナ関連補助（約28億円）と診療単価の向上により、昨年に引き続き黒字。将来に向けては、施設・設備の老朽化対応など、更なる経営の効率化が求められる。
- ・水道は、新型コロナウイルスの生活支援で基本料金の減額により減収。
- ・下水道は、R5年度の物価などの高騰による影響に要注視。

新型コロナウイルス感染症対策による財政の影響や、将来のまちづくりに紡ぐための施策の取組も確認できた。

引き続き「岡崎に住んで 本当に良かった」と思って頂けるように取組みます！！

部活動の地域移行について (No.39市制レポート(23.01)からの進捗報告)

- ・スポーツ庁、文化庁がR5～R7年度の3年間を改革推進期間と位置付ける。(R04.12)
- ・部活動の地域移行の検証も進め、学校指導要領は次期改定時に合わせて見直しを検討する予定。
- ・岡崎市総合教育会議(8.17開催)にて、進め方「3段階プラン」(岡崎モデル)を協議(下図内容)

<会議資料> <議事録>



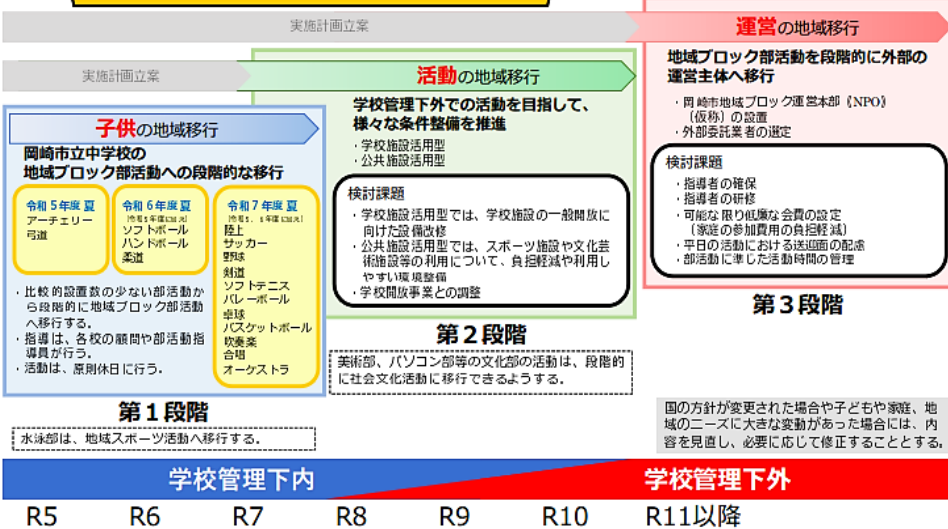
■岡崎市立中学校地域ブロック部活動の進め方について

これまで半世紀を超えて教師が献身的に取り組んできた部活動は、大きな教育的役割を果たしてきた。日本の貴重なインフラともいえる部活動。そして、岡崎市の中学生11,000人が関わる部活動を地域移行することは、大きな困難が予想される。そこで、令和5年度からの3年間は、子供の活動の地域移行として、近隣の学校を同じブロックとして市内8つのブロックに分け、中学校ごとの部活動をブロック単位で行う地域ブロック部活動を、岡崎モデル「3段階プラン」の第1段階として進めていく。

■地域ブロック部活動のブロック割



岡崎モデル【3段階プラン】



■ブロック割の部活動名

ブロック割	部活動名
8ブロック	ソフトテニス、陸上、サッカー、剣道、野球(男) ①～⑧
4ブロック	バスケットボール、バレーボール、卓球
2ブロック	ハンドボール(男)、ソフトボール(女)、吹奏楽 緑・黄・桃・青
1ブロック	アーチェリー、弓道、柔道(女)、ハンドボール(女) 赤・青枠
	1ブロック アーチェリー、弓道、柔道(女)、ハンドボール(女) 図全体

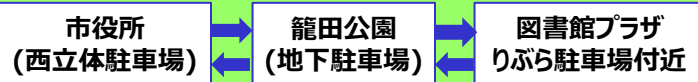
教師等の兼職兼業扱いや施設管理運用などの検討や、保護者への周知について注視します。

トピックス

自動運転バス実証運行について

【概要】 予算：4,173万円
R5年度共創モデル実証プロジェクト(国土交通省)の採択を受け、パークアンドライド促進によるまちなか渋滞緩和に向け、自動運転(レベル2)バスの実証運行を行う。

■コース(乗車料金は、実証実験中は無料)



■目指す将来像

近距離や、中央総合公園など中距離のパークアンドライド、地域内交通活用などを見据える。

■関係する企業

- ・NTTコミュニケーションズ(株)(ドコモビジネス)
- ・先進モビリティ(株)(自動運転車両)
- ・名古屋鉄道(予約システムとの連携)
- ・名鉄バス(運転手)

地域内交通の維持と、**運転手の2024年問題**にも関連する実証実験のため、良い成果に結び付くことを期待する。

家庭用LED照明器具買替補助

【概要】 予算：1,360万円
家庭部門のCO2排出量を削減するため、家庭用の蛍光灯や白熱灯などの既存照明から節電効果が高いLED照明器具への買い替えの市民へ一部補助をする。



■申請の流れ

- ①市内販売店で購入
- ②取り外し前の照明器具の写真を撮影
- ③市内自宅に照明器具を設置後の写真を撮影
- ④補助金の交付申請
- ⑤補助金の交付決定(申請から約1か月後)
- ⑥申請者の口座へ補助金入金(1人/回限り)

■補助額

購入費用	補助額
10,000円～19,999円	5,000円
20,000円～29,999円	10,000円
30,000円～39,999円	15,000円
40,000円～	20,000円

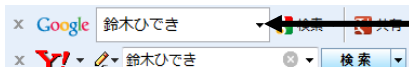
※税込み本体代のみ

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、**市民が自分事として取組むきっかけ**となり、さらに促進することに期待。

編集後記

9月定例会の詳細については、下記ドメインまたはQRコードを読んで頂き、市政レポートNo.42 定例会編をご確認願います。

<ホームページのドメイン>
http://www.giin-dnwu.com/suzuki_hideki/



「鈴木 ひでき」検索でも見れます!!

<QRコード>



～9月定例会編の内容～
・岡崎市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正(長期欠席について)を議決する。など

市政の話題満載!

